

## サンワ・リノテックがお届けするお得な記事満載の情報紙。 きっとお役に立ちます。

### ユーザー様訪問

今号は、創業48年を迎えられた(株)伊藤塗装商会の伊藤社長と設立6年目の(有)TEM'S和田社長を当社にお迎えして、業界を取り巻くお話をお伺いしました。両社ともに環境やアスベスト問題に取組み当社と情報の共有化を図りお互い切磋琢磨している間柄です、貴重なお話は今後の参考になると思いますので、最後までお楽しみください。

司会「本日はお忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。早速ですが、プライベートも含めた近況をお聞かせいただけたらと思います」



株式会社伊藤塗装商会  
代表取締役  
伊藤 博司様

伊藤「18歳の時、塗料の販売店と看板屋を営む店に就職して営業をしていました。営業が楽しく、塗装店や工場等によく営業に行ったものです。

年々売上げが上がりましたが、私の心の中ではどうしても塗装工事がしたくて、社長の人柄も良くてなかなか言い出せず苦勞したのですが、1年後には辞めて塗装工事の商売がしたいとお願いしたところ、1年後気持ち良く送りだして頂き、22歳で独立し、ちょうど東京オリンピックや万博景気に沸く頃で

時期的にはすごく幸運でした」



有限会社TEM'S  
代表取締役  
和田 崇様

和田「バブルが終わるかどうかという時に高校を卒業した訳ですが、特にこれといってやりたいことも見つからず居酒屋でバイトをしていました。すると当時一番羽振りが良かったのが建設業関係の人たちで、その人たちの勧めもあり専門学校へ進学しました。

卒業と同時に建設会社へ現場監督として入社したんですが6年後に倒産。幸いにも

も出入りしていた大手建設会社に入社でき、現場監督をしていました。その時ですかねアスベストに興味を引かれたんです」

伊藤「そうしたら、和田社長は息子と同じ位のお年になるのかな？僕もそろそろの年なので、近頃は社長交代の時期を考えるようになり、昔からお世話になっている方に意見を聞くと、世襲交代などまだ先のこと、時間はたっぷりあるんだからと諭されて改めて経営学を覚えてもらっているところですよ。とにかく口を酸っぱくして言ってることは、人を大切にしろ。僕も彼ら職人さんにどれだけ助けられたか分かりません。苦勞や経験は机の上だけでは解決できないということがまだわからんようで、理解してくれたら譲っていいと思ってるんですけどね」

佐川「お二人方から起業当時のお話が出たので、私も説明させていただきますと、外資系の化学メーカーを辞めて先

代の会社に入社した頃に、偶然にもアスベストを知るきっかけがありました。ちょうど第1次アスベスト問題が世間を騒がせ始めた時1988年で、伊藤社長とは塗装関連分野では、私の父の時代からの古いお付き合いですが、アスベスト関連でもこの頃からお付き合いさせてもらってます。

この時は理解度が低いこともあって、情報の発信側にたつことは出来なかったけど、その反省があったおかげでクボタショックの時には、オリジナルの機械や除去剤の開発製造、薬剤の分析まで幅広く対応してサンワ・リノテックとしての情報発信が出来たと自負しております」

司会「クボタショックの話が出たところでお聞きしますが、将来的な展望はどのようなお考えなんですか？」

和田「そもそも僕が独立を決意したのは、そのクボタショックがキッカケだったんです。大手建設会社が見ている方向に少しずつズレを感じ始め、業務提携というwin-winの関係を結ぶことで円満退社できました。もうアスベスト問題は終わったという声もありますが、関連する仕事も含めてまだたくさん未処理の分野が残っています。ただ今のスキルでどこまで問題解決ができるかは問われてくると思います」

伊藤「確かにクボタショック以降は、急にアスベスト工事に対するの見方が厳しくなったのは事実です。とにかく1988年に世間で騒がれた時には、除去に対して詳しいノウハウを持つ会社がない。満足な工事機材や薬剤は入手できない。検査方法もいい加減と、とても今では考えられないようなひどい状況でした。養生工事だったらお手のものやけど、アスベストのAの字も分からない。問い合わせしてきた会社に担当者を勉強に行かせて、最初の仕事を請け負ったのを覚えています。さらに封じ込めするのは別会社が加わるというようなレベルの工事でも認められたような時代でした。ぼちぼち審査証明の必要性が高まり始めた位の意識しかないような時代でした」

佐川「そんな現場事情とは知らなかったけど、夏の暑い盛りに初年度として千里ニュータウンのアスベスト除去工事がいっせいに始まり小学校を走り回ったのを覚えています。確かに米国製機材の性能も満足できるものはなかったし、ユーザーさんに申し訳ない気持ちがあったので、クボタショックの時に自社開発しようという説明にもつながらんですけど」

伊藤「理解のない工事会社や施工主の依頼で封じ込め工法にも取り組んできたけど、こんな工法では問題を先送りするだけやからやめましようとは何度反対してき (裏面に続く)



サンワ・リノテック株式会社  
代表取締役  
佐川 博敏

(表面より) たか分かりません。今回の審査証明を取得する気になったのはそんな下地もあったからです。

ただ、審査証明をとった企業としては無責任なことは出来ない、難しい問い合わせには時間がかかっても労働基準局で専門家を紹介してもらおうなどして、必ず回答しています。病院や、高層ビルのエレベータシャフトの塔屋など特殊分野の問い合わせには神経を使います。それだけに問い合わせだけで終わった時には、つらいものがありました」

和田「僕も記憶があります。営業で回っていた時に、壊してしまえばあとは知らんと言っていた解体屋さんが、クボタショックが起きてからは問い合わせの内容が危険に対する認識へと変わってビックリしたのを覚えています。

その時、質問に即答できるマニュアルがあればよかったです。現場のことを知れば知るほど一冊のマニュアルにまとめてしまうことに限界を感じましたね。そのためにも現場にあった事前協議を重ねて、おかしな価格で請け負うことが出来ない仕組みを作るべきだと思います」

伊藤「確かに処理費、測定費、除去費、養生費どれをとっても疑問を感じる値段で請け負っておられる業者さんが多すぎますね。その結果、同業者として許せない不法投棄などの行動をしてしまうんだろうけど。一方で約270万棟あると言われている民間建物のアスベストを除去する場合、国の援助が決定されたといった追い風が吹いてきたことはうれしいニュースですね」

佐川「でも一方でJISではアスベストは含有されてないと分析されたものが、ISOでは含有されていたと反対の結果になり、それが原因で発症した場合、訴訟されるといったダブルスタンダード問題が解決されないとうかつに動けないことはないんですか？」

伊藤「その問題はこれから先の議論になると思う。ところで、一時あれほど倉庫にあった負圧機を最近見かけない。最近大型プロジェクトの話も聞かないけど、どうされたんですか？」

佐川「最近アスベスト業界だけでなく、クリーンルームやデパートの食べ物フロアの内装工事現場で使ってもらえるように提案してきたことが認められて、ポチポチ利用してもらえるようになってきたところ。こうした提案は今後も続けようと思っています」

司会「最近日本建築センター(BCJ)で取得認証された、〇〇工法の審査証明を更新しないといった動きができてますが、両社にとって影響はどうでしょう」

伊藤「ガソリンスタンドの解体やマンションのエレベーター工事など国の補助という追い風もあって、新規のオーダーはあります。ただ工事する意思はあってもこれだけ不景気だと予算がとれないのが現状じゃないですか。

そんな風潮なので、10年先よりも目先のコストに走ってしまうケースが多いですね。だから封じ込めを依頼されるけど、それでアスベストがなくなる訳じゃない、いずれ解体する時にはもっとコストがかかることを説明して、伊藤塗装商会では、封じ込め工事は一切受け付けていません」



和田「取り易いところは取り尽くしているけど、コンビナートのプラントなどの取りにくい箇所などは取り残されたまま。これからは、新しい視点で物事を捉えていこうと思っています」

佐川「これからも成長していくための参考とさせていただきますので、当社に対するご意見をお願いします」

和田「値段勝負じゃない特化商品に目を向けられて、次々と開拓されているところに魅力を感じますね。ぜひ見習いたいと思います」<sup>\*1</sup>

伊藤「リース機械の品揃えや整備体制の安全性、注文すれば即納品してもらえる即納体制がありがたいね。それと社長が勉強熱心なのが頼りになる。わからない点があってもきちんと答えてもらえる。これほど付合っていて安心できる会社はないです。端で見ていても良い意味でのリース会社らしからぬ点がいいですね」

司会「もっと伊藤塗装商会さんのITOPEN工法やTEM'Sさんが提唱されているHi-Jet ARC工法(煙突には多くのアスベストが含まれているにもかかわらず、その対策がほとんどなされていないと警鐘をならされている)のお話などをお聞きしたかったのですが、限られた紙面では無理がありますので、詳細は各々の会社さんにお問い合わせしていただくということで、まとめさせていただきます。お忙しいところ、貴重なご意見をありがとうございました」

\*1 Hi-Jet ARC工法については、<http://i-tems.net/hijet.html>をご覧ください。

## 編集後記

今回は、前回に続いて鼎談形式になりました。

アスベスト対策工事の最前線で御活躍されています老舗会社と新進気鋭の会社の代表者二人にお話を伺いました。当社との付き合いは古く、昔話から始まり現状の業界の状況と問題点を始め、ITOPEN工法や煙突のアスベスト除去に有効なHi-jetARC工法等興味深いお話が聞けました。購読者の皆様にも参考になることと確信しています。

近年、クボタショックのように大きく取り上げられてはいませんが、アスベストがもたらす健康被害リスクは連日新聞でも報道されています。また、国土交通省の調査で民間の建物280万棟にアスベストが使用されている可能性があることが発表されています。

市場は必ずしも見通しは明るい訳ではありませんが、これからも「より安全、より安心、より効率的」な作業を実現する為の機器、副資材のレンタル、販売を通じて皆様のお役に立てよう貢献致します。

### 発行

作業現場の快適のために—  
レンタル、販売から工事施工まで

**Sanwa Renotech** 〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1丁目17番4号  
TEL.06(6551)0024 FAX.06(6554)1057  
**サンワ・リノテック株式会社** 東京営業所 〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-5-18-401  
[www.sanwa-renotech.com](http://www.sanwa-renotech.com) TEL.03(6411)0308 FAX.03(6411)0309

(10.12.25T)